



FAS住まい新聞

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇災害大国ニッポン◇

日本は、地震、津波、台風、豪雨、山崩れなどの自然災害が多い国です。特に自然災害を受けやすい条件が数多く揃っています。

近年では今までは違う地域で思いもよらない災害が起こるようになってきました。

大規模な災害から小規模な災害までありますが、一度災害が起こるとライフライン等に被害が出ることが多々あります。(ライフラインとは、生活に必要な水道、電気、ガス、通信などのインフラのことを指します。)

その中でも停電はもっとも生活を困惑させます。

現代は、電気に頼る生活が当たり前になっています。停電は、大きなリスクとなるため、ライフラインが復旧するまで何とか乗り切ることが重要です。

◇停電対策商品◇

停電対策商品としては、様々な商品が発売されています。小型発電機、太陽光パネル、蓄電池、V2H (Vehicle to Home) などがあります。

どの商品も、基本的には自家発電、自家消費をすることで万が一の時に備えることになります。(V2Hは、電気自動車に蓄えられた電力を、家庭用に有効に活用する考え方のことです。電気自動車に蓄電させることで蓄電池よりも大容量の電気を蓄電させられることから、停電時のバックアップ電気として活用することが可能となっています。)

しかし高額であったり、立地的な問題等から直ぐに対策できる家庭は多くありません。

◇スマートエルラインライト◇

蓄電池、V2Hよりも安価に設置できる停電対策商品が「スマートエルラインライト」です。この商品は、太陽光パネルや小型発電機、エコカー (HV車、PHV車、EV車) などの100V 1,500WのACコンセントから宅内へ電気を供給できるシステムです。

電気・水道・ガスが 9割程度復旧するまでの日数		知る防災号
	東日本大震災 (2011/3/11)	阪神淡路大震災 (1995/1/17)
⚡ 電気	6日	2日
💧 水道	24日	37日
🔥 ガス	34日	61日

※tenki.jpホームページより

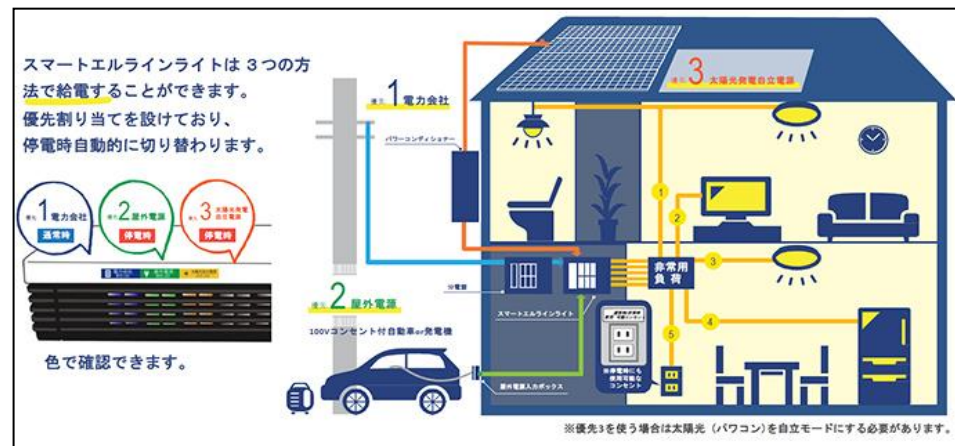
最低限必要な(5回路 AC100V 1,500kwまで)を事前に回路分けすることで、停電時にTV、照明、冷蔵庫などの電気を使用することができます。

また、電気が流れる優先順位があり(下記図)、優先順位の高い方に電気が流れると自動で切り替わります(特許取得)。太陽光パネルにおいては自立運転の最大の欠点「停電時・発電してもコンセント一つしか使えない」などの問題が解決できます。

この商品の大きな特徴の一つとして、太陽パネル、エコカーをお持ちでない方でも利用することがあります。

例えば、小型発電機で発電し、外部の供給コンセントから宅内送電することができます。また、ガソリン車の場合はインバーターを利用することで、DC12V 直流をAC100Vに変換して宅内に送電することが可能となります。

今ある設備でも利用することで、初期費用を抑えることが可能になります。また将来的に太陽光パネルを検討されている方には、事前に配線を行っておくことで将来に備えることも必要となります。



◇安心して暮らすために◇

これからの時代は、いついかなる場所でどんな災害が起こるか分かりません。それだけではなく、コロナ禍を経て、自宅避難をされる方も多くなりました。

自宅こそ一番安全に安心できる避難先にするためにも、停電時に電気が供給できることは利点となります。

太古の昔より暗闇を恐れてきた経験から、少しでも明るい場所があるということは、大きな安心につながります。

ペットを飼っている、病気の高齢者が居るなど、気軽に避難所に避難できない方にこそ、災害対策商品の取り揃えをお勧め致します。

(著・業務企画部 中島幸)